

令和6年度 第4回購入「村有図書」一覧

No.	書籍名	出版社	著者
1	『北海道建築』	トゥーヴァー・ジンス	角幸博/荒井宏明
2	『架空犯』	幻冬舎	東野圭吾
3	『禁忌の子』	東京創元社	山口未桜
4	『コード・ブッダ』	文藝春秋社	円城塔
5	『婚活マエストロ』	文藝春秋社	宮島未奈
6	『サンナムジャ ヤンキー男子がK-POPに出会って人生が変わった件』	小学館	浜口倫太郎
7	『地雷グリコ』	KADOKAWA	青崎有吾
8	『深淵のテレパス』	東京創元社	上條一輝
9	『宙わたる教室』	文藝春秋社	伊与原新
10	『多頭獣の話』	講談社	上田岳弘
11	『月(ちち)ぬ走(は)いや、馬(うんま)ぬ走(は)い』	講談社	豊永浩平
12	『なれのはて』	講談社	加藤シゲアキ
13	『フェイク・マッスル』	講談社	日野瑛太郎
14	『ミスター・チームリーダー』	新潮社	石田夏穂
15	『ゆびさきに魔法』	文藝春秋社	三浦しをん
16	『六月のぶりぶりぎっちょう』	文藝春秋社	万城目学
17	『私の知る花』	中央公論新社	町田そのこ
18	『笑う森』	新潮社	荻原浩
19	『世界の一流は「休日」に何をしているのか』	クロスメディアパブ	越川慎司
20	『食べるノヲト。』	マガジンハウス	松重豊
21	『わたしが元気なのはこれ食べているから』	家の光協会	横山タカ子
22	『大谷翔平ロングインタビュー』	文藝春秋社	石田雄太
23	『皇后は闘うことにした』	文藝春秋社	林真理子
24	『われは熊楠』	文藝春秋社	岩井圭也
25	『土方歳三、その実像』	河出書房新社	伊東成郎
26	『頭のいい人が話す前に考えていること』	ダイヤモンド社	安達裕哉
27	『鯨鯢(けいげい)の鰓(あぎと)にかく』	小学館	山川徹
28	『老いを楽しむ人生の言葉』	Gakken	和田秀樹
29	『ゲーム理論トレーニング』	かんき出版	逢沢明
30	『マンガで読む地政学』	日経ナショナルジオ	バスカルボニファス/トミー
31	『AIにはできない～人工知能研究者が正しく伝える限界と可能性』	角川新書	栗原聡
32	『地方消滅2 加速する少子化と新たな人口ビジョン』	中央公論新社	人口戦略会議

33	『なぜヒトは心を病むようになったのか?』	文春新書	小松正
34	『「発達障害」と間違われる子どもたち』	青春出版社	成田奈緒子
35	『人はどう悩むのか』	講談社	久坂部羊
36	『最後は住みたい町に暮らす』	集英社	井形慶子
37	『ようやくカナダに行きまして』	文藝春秋社	光浦靖子
38	『生まれ変わったらパリジェンヌになりたい』	河出書房新社	淡谷のり子/早川茉莉
39	『もう明日が待っている』	文藝春秋社	鈴木おさむ
40	『肥満の科学～ヒトはなぜ太るのか』	NHK出版	リチャードJジョンソン
41	『逆転ミワ子』	双葉文庫	藤崎翔
42	『逆転泥棒』	双葉文庫	藤崎翔
43	『逆転美人』	双葉文庫	藤崎翔
44	『孤高の傭兵 傭兵代理店・斬』	祥伝社文庫	渡辺裕之
45	『じゃない方の渡辺』	幻冬舎文庫	桂望実
46	『十一人の賊軍』	講談社文庫	沖方丁
47	『懲役病棟』	小学館文庫	垣谷美雨
48	『光』	集英社文庫	三浦しをん
49	『碧血の碑』	小学館	赤神諒
50	『ひとつの祖国』	朝日新聞社	貫井徳郎
51	『つい昨日のできごと』	平凡社	小手鞠るい
52	『フィンランドの高校生が学んでいる「人生を変える教養」』	青春出版社	岩竹美加子
53	『隣人のうたはうるさくて、ときどきやさしい』	双葉社	白尾悠
54	『変な家2』	飛鳥新社	雨穴

『<以下児童図書>』

1	『ぼくのねこ ポー』	PHP研究所	岩瀬成子/松成真理子
2	『森の歌がきこえる』	偕成社	田島征三/インシエンマン
3	『あなたのすてきなところはね』	KADOKAWA	玉置永吉/えがしらみちこ
4	『はながさいたら』	BL出版	カトリーナ・ムーア他
5	『せがのびる』	福音館書店	やぎゆうげんいちろう
6	『まよなかのかいじゅう』	徳間書店	阿部結